【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和2年5月7日(2020.5.7)

【公開番号】特開2018-200997(P2018-200997A)
【公開日】平成30年12月20日(2018.12.20)
【年通号数】公開・登録公報2018-049
【出願番号】特願2017-106159(P2017-106159)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　33/52　(2010.01)
Ｈ０１Ｌ　21/56　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　1/26　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/00　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　33/52
Ｈ０１Ｌ　21/56　Ｅ
Ｂ０５Ｄ　1/26　Ｚ
Ｂ０５Ｄ　7/00　Ｈ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０３Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和2年3月26日(2020.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液状の樹脂と、粒子とを含む樹脂材料が収容されたシリンジを準備する工程と、
前記シリンジを、湿度２０％以下、温度０℃以上５℃以下の雰囲気下に配置する工程と、
前記シリンジの下方に、発光素子が載置された基板を配置する工程と、
前記シリンジの下端のノズルの吐出口から前記液状の樹脂材料を吐出して前記発光素子を被覆する工程と、を備える発光装置の製造方法。
【請求項２】
前記ノズルの吐出口を２０℃以上に加熱する請求項１に記載の発光装置の製造方法。
【請求項３】
前記粒子は、蛍光体粒子を含む請求項１又は請求項２記載の発光装置の製造方法。
【請求項４】
前記粒子は、拡散材を含む請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の発光装置の製造方法。
【請求項５】
前記シリンジの周囲に保冷部を備える、請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の発光装置の製造方法。
【請求項６】
前記保冷部は、冷媒として液体又は気体を循環させる冷却パイプを備える、請求項５に記載の発光装置の製造方法。
【請求項７】

前記冷媒は、水、液体窒素、不凍液から選択される、請求項６に記載の発光装置の製造方法。
【請求項８】
前記冷媒は、フロンガス、空気から選択される、請求項６に記載の発光装置の製造方法。
【請求項９】
前記ノズルは、前記保冷部から離間して配置される、請求項５～請求項８のいずれか１項に記載の発光装置の製造方法。
【請求項１０】
前記ノズルは、ヒータを備え、前記ヒータにより前記ノズルの温度を２０℃～４０℃になるように温度制御されている、請求項１～請求項９のいずれか１項に記載の発光装置の製造方法。
【請求項１１】
前記ヒータは、前記ノズルの側面を巻装した電線を備える、請求項１０に記載の発光装置の製造方法。